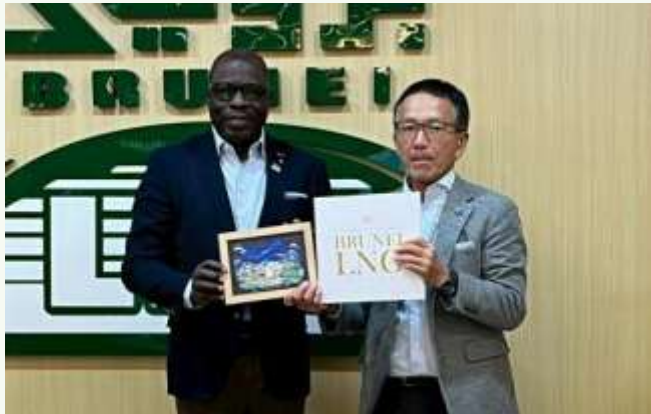


①長期視点での資源・事業確保、②安全・人材・設備への継続投資、③信頼を軸としたパートナーシップ構築が、安定成長を支える重要な要素であることを示しています。



道永会長と Adeleye Falade 代表取締役・CEO

【在ブルネイ日本国大使館】

菊田大使との面談の機会をいただき、意見交換させていただきました。

ブルネイは、フィリピン南部ミンダナオの和平プロセスを通じて日本と深い関係を持ち、宗教・民族問題という地域の核心課題に日本が関与してきた歴史があります。

ブルネイを理解する上で不可欠なのが、国家理念「MIB(マレー文化・イスラム教・王制)」であり、王族主導の政治・経済体制の下、株式市場や敵対的 M&A は存在せず、外資は制度と文化を正しく理解した上での関係構築が求められます。

経済は石油・天然ガスが基盤ですが、国家戦略として今後は脱炭素を見据えた天然ガスの高度活用や電力分野への展開、観光・ICT など非資源分野への多角化を進めています。

2026 年は国王 80 歳、2027 年は在位 60 周年と王室節目の年となっています。また、2035 年は、国として人材教育の目標を掲げており、再生可能エネルギー比率 30% など明確な政策目標が示されており、今後の実現に向けた取り組みが期待されます。

日本とは LNG を中心に強固な経済関係があり、2024 年には 11,500 人も日本人観光客が来訪する等、人の往来や観光も拡大中です。一人当たり名目 GDP は世界 36 位と 38 位の日本

より高く、政治的安定、高い教育水準、税制優遇といった環境から、規模は小さいながらも信頼重視・長期視点のビジネスを志向する企業にとって、有望な市場といえます。

【ブルネイ経済開発委員会(BEDB)】

ブルネイは、日本企業にとって安定かつ信頼できる投資先です。ブルネイは日本と長年の経済関係を持ち、Wawasan2035 に基づき石油・ガス依存からの脱却と経済多角化を進めています。重点分野は石油・ガス下流ビジネス、食品(ハラール認証)、観光、物流・サービス、ICT の 5 分野です。これらは日本の技術やノウハウとの親和性が高く、連携の機会も豊富にあります。

投資のメリットは、法人税 18.5%、個人所得税等なし、政治的安定、治安の良さ、自然災害の少なさは中小企業にとっても大きな投資魅力となっています。



BEDB との意見交換

ブルネイは、地理的に ASEAN の中心に位置し、CPTPP や RCEP 等の FTA を通じて広域な市場へのアクセスも強みです。BEDB が認可・用地・投資支援を一元的に担い、企業規模を問わず支援する点は、海外進出リスクを抑えたい企業にとって心強いものとなっています。

物流ハブ、ICT エコシステム、工業団地などのインフラも整備され、食料・観光・サービス分野でも成長の可能性があります。

ブルネイは日本の高い技術との連携に期待しており、特に中小企業にとって海外展開の有力な機会を提供しています。